

2023年度 盛心塾和歌山 活動報告

2023年度盛心塾和歌山総会・懇親会

2023年1月27日、アバローム紀の国にて、2023年度盛心塾和歌山の総会・新年会が開催されました。角谷代表世話人の開会の挨拶の後、辻本塾生司会のもと、小池塾生から、2022年度会計報告、2023年度会計予算案及び審議、石黒塾生から、2022年度活動報告、2023年度活動予定案及び審議、2023年度世話人及び各委員長案及び審議、小池塾生から、規約の改定に関する事項案が提案され、いずれも満場一致で可決されました。また、各委員会の活動方針の発表が、各委員長からありました。また、石黒塾生から、2023年度盛心塾和歌山の行動スローガンの発表があり、盛心塾和歌山の新年度の活動がスタートしました。



新入塾生紹介



オフィスSAKURA 得津美恵子

「マナーコンサルタントとして、研修や講演をさせていただいています。6年前に塾長の教えと邂逅し、精進を重ねるように努力しています。作家としても、小説の執筆活動もしております。」



株式会社あさひ 西口 宗馬

盛心塾和歌山で、皆様と共に学ばせていただく機会を賜りましたこと、とても光栄に存じます。また、入塾させていただきましたことに心から感謝申し上げます。

私は、ヒルトン大阪をはじめ、ハイアットブランドやマリオットブランドでキャリアを積み、2019年11月、株式会社サンフロンティア不動産がマリオットとFC契約により開業しましたコートヤード・バイ・マリオット大阪本町で副総支配人に着任いたしました。2020年4月に総支配人に就任、2022年1月からチャプター京都トリビュートポートフォリオホテルの総支配人を兼務し、2023年11月に米国ファンドへ事業譲渡後は、両ホテルの統括総支配人として勤務させていただきました。2024年10月から、両親が経営する株式会社あさひへ取締役として入社し、事業承継に向けて邁進させていただいております。サンフロンティアでは、私にとって偉大な師である、堀口智顕代表取締役会長様から、フィロソフィを通じて『人としての在り方』からご教示を賜りました。無知であった私は、巨石で殴られたような大きな衝撃を受け、『考え方』を大きく変えていただきました。そのお陰様で、コロナ禍であっても、マスメディアからご紹介いただくなど大きな反響を得ながらホテル経営をさせていただきました。

“生”のフィロソフィを学び続けたい、実践に活かし仲間を幸せにしたい、そのような思いで門を叩かせていただきました。2024年は、既存の介護・医療部門は『心温かい優しい医療・福祉』をテーマに、多くの方に『生きる幸せ』をお届けさせていただけるよう邁進してまいります。また、ホテルマネジメント部（ホテルコンサルタント、客室清掃、解決型覆面調査）を新たに立ち上げて、より多くの仲間と社会へお役に立たせていただけるよう尽力してまいります。市益から国益を資する企業に成長させることが、私が掲げる“山”の一つでございます。経営方針は、『利を求めずに非ず。信任を求むるにあり。変わるの自分、お客様視点でお困りごとを解決し、ご期待以上で応える。』でございます。

一意専心に学ばせていただきます。皆様のご指導ご鞭撻賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

第1回

株式会社カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント
代表取締役会長兼社長 穂積 輝明



従業員を守る経営が、自社を守る

「採用はどのようにしているのか」、「コロナ禍の厳しい状況の時に、やめていく従業員はいなかったのか」など、様々な質問が飛び交い、穂積様も熱い言葉で回答下さいました。

フィロソフィがピンチから経営者を救う。ピンチの時ほど筋肉質に変えるチャンスである。など

プロフィール 1972年京都生まれ。京都大学工学部大学院を卒業後、リクルート創業者の江副浩正氏が率いるベンチャーディベロッパーに入社。2003年不動産投資会社に転職。2005年に同社社内ベンチャーとしてカンデオホテルズを創業 全国に26拠点4,903室を展開。2018年稲盛経営者賞受賞。

第2回

株式会社ジェイエスティ 代表取締役 西 智彦



奇跡を呼び込む力

2001年9月11日のアメリカ同時多発テロや、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、旅行業界は大きなダメージを受けた中で、超ポジティブ思考で、我社は大丈夫と社員を鼓舞し、「災難は天からの贈り物」と前向きに考え、奇跡を呼び込むことで、試練を乗り越えて来られた。また、稲盛塾長が、西社長の沖永良部島の実家に行かれたビデオを見せて頂きました。塾長の飾らない人柄を拝見し、人は謙虚にして驕ってはいけないと改めて感じさせられました。

また、ChatGPTや、YouTubeなどの活用方法に付いても詳しく説明を頂きました。

プロフィール 1953年 鹿児島県沖永良部島生まれ。甲南大学経営学部卒業。
1979年 26歳で海外専門旅行会社「株式会社ジャパNSTAディーツアーズ」(現：株式会社ジェイエスティ /JST) を名古屋で設立、代表取締役社長に就任し、現在に至る。
「世界で一番お客様と親しい旅行会社」を目指し、「お客様は恋人」「旅のホームドクター」「楽しくなければ会社じゃない、楽しくなければ仕事じゃない」を实践、リピーターおよび紹介客80%実現。
超ポジティブ思考経営者。現、盛心塾尾張代表世話人。
盛和塾機関紙52号「災難は天からの贈り物」掲載。

第1回

株式会社なな電機 石黒 学 塾生



2023年3月14日和歌山城ホールにて株式会社なな電機代表取締役石黒学塾生の経営体験発表が行われました。

学生時代のお話から始まり、御父上の会社に戻り大変な苦境を乗り越え見事会社を復活させたこと、旧盛和塾和歌山に入り会社経営を軌道にのせたこと、そしてそこで受けた刺激によって、また覚悟をもって新たな高みを目指して進んでいることなど、経営数字を伴って石黒塾生より赤裸々に発表されました。



以前も経営体験発表を行っておられますし、稲盛経営者賞を受賞もされ、立派な経営を確立されている事は塾生の中でも周知の事実ではありますが、今回は数字や仕組みなどの話ばかりでなく、石黒塾生の会社にかける熱い思いや、従業員さんとの関係性など、感情にまつわる部分のお話などが、塾生からの質問を通じて深くお聞きすることができました。

発表の後は少人数に分かれてのグループセッションを行い、議論を通じて深堀をし、各グループより質問も含めての発表がありました。「自分がやっている試みが従業員に理解が得られず、ただの自分の我儘になっているのでは？」など、自社の悩みも飛び出しながらの発表で、それに石黒塾生が真剣に答えるような場面もあり、非常に学びの深い体験発表例会となりました。

第2回

株式会社ナニワ屋 松林 雅美 塾生



2023年7月11日、和歌山城ホールにて株式会社ナニワ屋代表取締役松林雅美塾生の経営体験発表が行われました。

事業内容や業績についてのお話から始まり、専業主婦が夢であったにも関わらず、どのような経緯で会社を継ぎ社長就任に至ったのか、また社長就任から現在に至るまでのお話を赤裸々にご発表頂きました。



従業員の物心両面の幸せを追求し、お客様にご満足いただける高品質なサービスと、ご信頼頂ける安心感を常に提供できる企業を目指すという経営理念のとおり、従業員への感謝の気持ちや向き合うことの大切さに気付き、お客様により良いサービスを提供するためには従業員と絆の強い会社、安心して働きやすい会社にならなければならないという思いと実践のお話に多くの気づきと学びを頂きました。

発表の後には、3組に分かれてグループセッションを行い、議論を通じて深堀をし、各グループより質問も含めて多くの発表がありました。「今後の経営・営業についての質問」では、現在も少なからず悩みはあるようですが、コロナ禍に始めた着物リメイク事業を始めたことや高級マンションのコンシェルジュサービスへの営業ができたことから、その経験により今後の営業展開の広がりも見えてきていることなど、常に前向きな姿勢や思い、発想などに非常に深い学びを頂けた経営発表体験となりました。

第3回

税理士法人あすなる 毛満 勝彦 塾生



2023年11月21日税理士法人あすなる様の事務所において、毛満勝彦塾生の経営体験発表が行われました。

毛満塾生の生い立ちから学生時代、税理士事務所修行時代の壮絶な話のあと、お母様の元に帰ってきて経営を始めてからの失敗、大きな転機、スタッフさんたちとの関係の変遷など、本当に赤裸々にお話いただきました。独特と評される毛満塾生の考え方の源がどこにあるのか？がよく分かる発表でした。



また、当日はあすなるの所員様4名も参加してくれ、会社に対して思っていることや今までの歩みなどをオープンに語ってくださったことも、完全ガラス張りの経営を行っている「あすなる」さんを象徴しておりました。一見すると、稲盛哲学から距離があるように見えるかもしれない毛満塾生ですが、根本に流れている思想や、従業員さんを本当に大切にしている所は、まさに稲盛哲学でありました。毛満さんの本質を突く言葉から、参加者も大いに学びを深めることができました。途中、小池代表世話人から「お母様の深い愛が毛満さんに大きな影響を与え、根本をなしている」という言葉が非常に心に残りました。

関西 10 塾合同勉強会

株式会社なな電機 代表取締役 石黒 学

2023年5月20日大阪商工会議所国際会議ホールにて、後日行われる世界大会の発表者選考も兼ねた関西 10 塾合同勉強会が開催されました。各塾を代表する9名の素晴らしい発表を、関西各地のたくさんのソウルメイトたちが、一言も聞き漏らすまいと真剣に聴き入る姿は、盛和塾は解散しても、塾長の心や教えはしっかりと継がれていることを証明されておりました。

和歌山塾からは石黒代表世話人の発表でした。従業員にこの会社で働いて良かったと思ってもらえる会社にするために、経営者がもたねばならない覚悟や勇気、そして人格を高めて判断基準を損得から善悪へと変えていかねばならないことなど、自身の若い頃からの成長とともに語られる素晴らしい発表でした。また、会場には石黒代表世話人のご長男もお越しになられて、食い入るように発表を聞かれていました。社業も家庭も素晴らしい、まさに石黒さんの高い人格を示しておられる発表でありました。

第5回 七塾合同合宿 in 休暇村近江八幡

毎年恒例となった合同合宿。稲盛和夫経営哲学を2日間泊まり込みで学び、ソウルメイトと一緒に心を高め合う、志高き合宿に参加しました。

盛心塾和歌山から、大彦株式会社 代表 野上浩幹さんが経営体験を発表され、とても深い学びの場となりました。



勉強会内容



一日目：初めに(株)オーリック 代表取締役社長 濱田龍彦さんの講演からはじまり、4塾4名の経営体験発表と稲盛塾長の「人生の価値と目的」を視聴しました。

二日目：(株)カルソフト 代表取締役社長 ネム・パジュラさんの講演と、3塾3名の経営体験発表があり、各発表から得た学びをいかに自社に落とし込めるかなど、決意表明を経て会は終了しました。

懇親会の様子

勉強会が終わると夜は参加メンバーと大コンパ会。美味しい食事とお酒で場は大賑わいに。

これだけ多くのソウルメイトが集まると熱気は最高潮！

コンパが終わると二次会勉強会に参加。夜は各グループに分かれて、各部屋で経営問答を行いました。

先輩塾生がメンター(実践役)となって進める勉強会はリアルな相談が場をさらに熱くします！

近江肉尽づくしの料理に感動

夜の食事内容を少し紹介します。

近江牛づくしの贅沢な料理でした。

近江牛のしゃぶしゃぶ、近江牛の鉄板焼き、近江牛のローストビーフなど、また食べてみたいと思うくらい美味しくて、お酒もすすみました。

天候にも恵まれ、今回の合宿も盛会のうちに終了。また来年も参加して心を高め合いたいと思います。



第3回 心を高める経営を伸ばす世界大会 於：国立京都国際会館



2023年11月13日(月)



和歌山塾の紹介動画もしっかり流れていました。

経営体験発表

- ① Kodama Koi Farm 樹神太郎 様
- ② 巨竜光学有限公司 薫 章明 様
- ③ ABC開発株式会社 西口泰宏 様
- ④ 株式会社カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント 穂積輝明 様
- ⑤ 株式会社ほっとリハビリシステムズ 松井一人 様
- ⑥ 株式会社英田エンジニアリング 万殿貴志 様
- ⑦ 株式会社ビーアンドピー 和田山朋弥 様



熱気あふれる会場ロビー

会場は熱気に包まれており、書籍の販売も好評でした。

参加者は海外からも含め約1500名。

1つの会場でのコンパもあり、盛和塾時代のパシフィコ横浜を思い出しました。



2023年 望年例会

於：一橋庵

年の瀬迫るなか 15名のソウルメイトが集い望年例会が行われました。

2023年度 行動スローガン「心をベースとして経営する」

新年総会で発表した決意表明に対して塾生ひとり一人から振り返りのコメントがありました。出来ている事、出来ていない事、お互いの発表を聞き「反省」や「気づき」、また多くの学びがありました。

熱のこもった話は時間を大幅に超過しましたが、来年への大いなる英気を養いました。



盛心塾和歌山代表世話人退任のご挨拶

前略

お元気様です。

日ごろは、稲盛経営哲学を学び、そして反省と気づきを自社の経営に生かし、心を高め、経営を伸ばし、「全従業員の物心両面の幸福」を追求しつづけるみなさんとは、ソウルメイトの関係であることを感謝しています。

私事ですが、この12月で和歌山塾代表世話人を退任することになりました。

代表世話人期間中は、至らぬことばかりではありましたが、長きにわたり、みなさんのご理解、ご協力をいただきながら、多少なりとも、みなさんへのお世話ができたのならば、私にとって、こんなに有難いことはありません。みなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

稲盛和夫塾長は、盛和塾、そして盛心塾の世話人はお世話係であり、代表世話人はその代表であり、偉いものでも何でもないとされました。私もその言葉をいただき、おごることなく、謙虚にふるまうことができたようにも思います。また、お世話をさせていただくことで、自分自身、「自利利他一致」という言葉の意味も少しは体感できたかと思います。

私にとって、稲盛経営哲学の学びと同様に、利他を実践することの大切な学びをさせていただいた時間となり、本当に感謝しています。個人的には、盛和塾、盛心塾の代表世話人をさせていただいたおかげで、自社の経営でも、自身にふさわしいリーダー像としてあるべき姿を見つけることもでき感謝しています。

来年からは、小池さん、石黒さんに引き続き、代表世話人を務めていただき、和歌山塾を引っ張っていただきます。小池さん、石黒さん、よろしくお願いします。私は、来年度からは一塾生として、下足番の立場として、引き続き、塾運営、学びのサポートをさせていただければと思っています。

企業も盛心塾も同じで、公明正大な事業の目的意義を軸に、永続的發展をしていくことが大事かと思えます。盛心塾和歌山という存在が、私たち経営者の考え方、心根のベースとして、来年、再来年とさらによき学びと気づきの場となることを祈念しまして、代表世話人退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

草々

令和5年12月25日

盛心塾和歌山代表世話人

株式会社サンコー

代表取締役社長

角谷太基